

## PRESS RELEASE

※ 2020年5月22日（金）15:00 情報解禁

2020.05.21

Dance Base Yokohama



## 新しいパフォーマンス・アーツの拠点 Dance Base Yokohama

Dance Base Yokohama は、プロフェッショナルなダンス環境の整備およびダンスに関連するあらゆるクリエイター育成に特化した事業を企画・運営する、ダンスハウスです。複合芸術であるダンスの発展のため、振付家やダンサーといったアーティストのみならず、音楽家、美術作家、映像作家、照明デザイナー、音響デザイナー、またプロデューサーやプロダクションスタッフ、批評家、研究者、そして観客の皆様の交流拠点になることをめざしています。Dance Base Yokohama が、ダンスを巡る多くの人々が垣根なく集える磁場＝プラットフォームとなるよう、DaBY（デイビー）の愛称をつけました。

クリエイションを行うレジデンススペースでありながら、地域のアーティストや市民との交流も行い、ワークショップや実験的なトライアウト公演の実施や、ダンスアーカイブ事業など、さらなる多様な試みを展開予定です。

DaBYのアーティストディレクターには、日本初のダンスキュレーターの唐津 絵理（愛知県芸術劇場シニアプロデューサー）を、また、ダンスアーティストと観客、クリエイターを繋ぐダンスエバンジェリスト（伝道師）として小尻 健太（振付家・ダンサー）、第一弾アソシエイトコレオグラファーとして、鈴木 竜を（振付家・ダンサー）迎えます。他にも日本のダンス環境の改善に向け、積極的に専門家を起用していく予定です。

## DaBY で展開する 3つの拡張

- 1\_ ダンスの観客層を広げる    2\_ 専門的な人材を広げる    3\_ 若手の登用

## CONCEPT

以下の4つのコンセプトを軸に、事業を展開していきます。



つくる

### レジデンス

- ・プロフェッショナルなクリエイターによるダンス作品の創作
- ・創作活動の成果発表の場となるトライアウト公演



そだてる

### プロラボ プロフェッショナルのダンスアーティスト向けのプログラム

- ・ダンスの枠を超えた様々なプロフェッショナルによる専門的なワークショップ  
アーティスト登録 (\*1) / 実験的な作品の創造 “コレクティブ” (\*2)
- ・ダンスの環境改善やクリエイターのステップアップのための各種セミナー

ex) コレクティブ・リサーチ：ダンスエバンジェリスト小尻健太がファシリテーターとなる実験的なワークショップ

ex) リーガルセミナー：DaBY リーガルアドバイザー東海千尋によるセミナー



あつまる

### オープンラボ キッズや学生、一般の方が参加できるプログラム

- ・多様なアーティストやクリエイター・舞台スタッフの交流の場としてのプラットフォーム
- ・市民やダンスファンが気軽に立ち寄れるダンスアーカイブ

ex) オープンリサーチ：コレクティブリサーチの成果発表

ex) アーカイブのトークイベント：ダンサー・振付家によるアーカイブ作品の上映と解説

ex) キッズ向けプログラム：キッズ向けプログラムなど



むすぶ

### ネットワーク

- ・国内外のダンスを専門とする劇場や団体を結ぶハブ
- ・多様な団体と協働することで、ダンスを通じた社会貢献を実現

#### (\*1) 登録アーティスト

アーティスト、クリエイターが DaBY を利用するには、プロフェッショナル会員の登録が必要です。登録ダンサーは、特定のワークショップへの参加、DaBY 作品の出演候補対象を基本とし、アプレントイスダンサー \* レジデンスダンサー \* レジデンスアーティスト \* など独自の分類にあわせプロフェッショナルなダンス環境を提供します。ダンスエバンジェリスト小尻健太がメンターとして活動し、若手アーティストへのアドバイスや、クリエイションのサポートを行います。

ゲストアーティスト：堂園 翔矢・森永泰弘・田中麻里奈 など / レペティター \*：小野麻里子 / レジデンスダンサー：安心院かな、岡本優香など

(\*) アプレントイスダンサー：若手を対象に、将来有望な若手ダンサーの無償受容

(\*) レジデンスダンサー：DaBY 登録ダンサーのロールモデルとなるような存在

(\*) レジデンスアーティスト：DaBY が場所提供をして、創作活動をするアーティスト

(\*) レペティター：DaBY における創作活動やダンサーへのアドバイザー

#### (\*2) 実験的な作品の創造 “コレクティブ”

アソシエイトコレオグラファーらが、次世代の作品を創作。初めてダンス作品に取り組む異ジャンルのアーティストが参加。

\* 第一弾アソシエイトコレオグラファー 鈴木竜。建築家、音楽家、ドラマトウルクなどが参加。

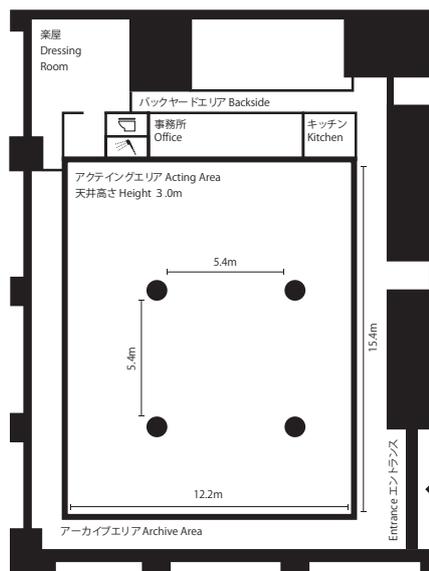
## SPACE

DaBY は、再開発地域として注目を集める横浜・北仲エリアの「KITANAKA BRICK&WHITE」BRICK North の3階に位置します。歴史的建造物の復元建築として、窓などの開口部や柱の位置、天井高など構造はそのままに、ボックス・イン・ボックスの構法で空間を構成しています。ダンスクラス、創作活動（レジデンス）、ショーイング、ワークショップ、トライアウト等を行うアクティンクエリアを中心に、周辺の廊下部分にライブラリー等のアーカイブ機能を配置、他にもバックヤードに楽屋やシャワー施設、オフィス、倉庫等を有しています。クリエイターのための真の創造の場にしていくために、さまざまな人たちと巡り合うことのできる空間構築をめざしています。空間設計は、地元横浜馬車道に拠点を置き、まちづくりやクリエイターネットワーク構築で実績のあるオンデザインパートナーズの一色ヒロタカ等が担当。

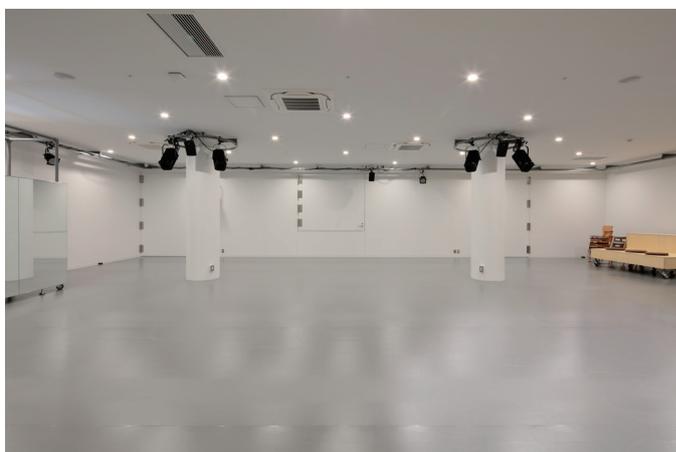
日本の文化・芸術活動、特にコンテンポラリーダンスの発展に寄与することを目的として、2019年3月1日に設立された一般財団法人セガサミー文化芸術財団が運営・管理していきます。



エントランス



アクティンクエリア



アクティンクエリア



アーカイブエリア



アクティンクエリア

新型コロナウイルスを受けての今後の方針

1 TRIAD INTERMISSION

オープニング記念イベントで予定していた「TRIAD DANCE DAYS-都市を振り付ける3日間-」は中止となりましたが、アーティストとの対話を重ね、「TRIAD INTERMISSION (幕間)」として開催。各アーティストによるトークセッションやプロセス公開を予定。

- TRIAD DANCE PROJECT「ダンスの系譜学」は、延期調整中。
- サイトスペシフィック・パフォーマンス『都市のなかの身体遊園地』は、『ダンステレポーテーション』として 新プロジェクト開始



2 DaBY Channel

YouTube、SNSなどを活用し、オンライン上でDaBYのコンセプトを表現できるようなコンテンツを配信。

DaBY Channel：2020年5月28日（木）よりスタート！

<コンテンツ例>

- 客層を広げるためのインスタライブ
- 分野を横断したトークセッション
- アーティストインタビュー
- プロラボ・オープンラボのアーカイブ化
- 専門家によるオンラインレクチャー
- ダンサー、クリエイターによるオンライン創作活動の発表
- DaBYにて実施するイベントのアーカイブ化

<現在決定しているイベント>

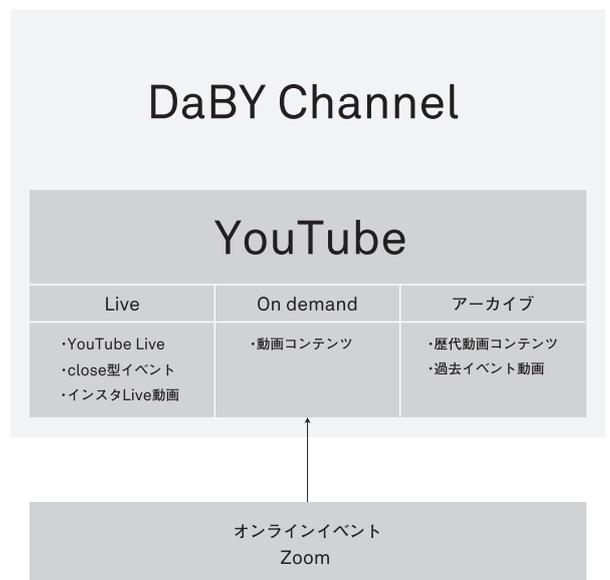
- ① DaBY Channel 開設記念 DaBY talk Live vol.1  
金森 穰×小尻健太 5月23日（土）21:00～
- ② DaBY talk Live vol.2 5月28日（木）21:00～  
近藤良平×鈴木竜
- ③ Open Lab Vol.1 6月27日（土）  
ゲスト：山本康介

3 アーティストサポート (DaBY スタジオ無償提供)

7月の一定期間、新型コロナウイルスで被害を受けたダンスアーティストへのリハーサルやクリエイション、映像撮影などの場として施設を開放。

- 内容： ダンスのリハーサル、クリエイション、自身のレッスン、オンライン発信のためのスタジオ使用、映像撮影  
\*ダンスの指導や集客を伴うイベント、有料のイベントは除く、人数制限あり

<構成図>



## DaBY STAFF & PARTNERS

### DaBY Creative Staff

- 唐津絵理 Eri Karatsu アーティスティックディレクター
- 勝見博光 Hiromitsu Katsumi マネージングディレクター
- 小尻健太 Kenta Kojiri ダンスエバンジェリスト
- 宮田美也子 Miyako Miyata アドミニストレーター
- 田中希 Nozomi Tanaka アシスタントディレクター
- 東海千尋 Chihiro Tokai リーガルアドバイザー
- 鈴木竜 Ryu Suzuki アソシエイトコレオグラファー
- 福田将人 Masato Fukuda 財団担当マネージャー

### DaBY Partners

- DaBY VI デザイン・宣伝美術  
SPREAD (クリエイティブユニット)
- DaBY 空間設計  
一色ヒロタカ + 小澤成美 +  
森詩央里 + オンデザイン

## OUTLINE

- 名称： Dance Base Yokohama (ダンスベースヨコハマ)
- 愛称： DaBY (デイビー)
- 所在： KITANAKA BRICK&WHITE (北仲ブリック&ホワイト) BRICK North 3階  
神奈川県横浜市中区北仲通 5-57-2
- URL： <https://www.dancebase.yokohama>
- 開館時間： 10:00~18:00 (火~土 / 日・月休)  
※日曜日には、トライアウト公演やワークショップを実施する場合があります。  
※月曜日が祝日の場合は、その翌日に休館いたします。  
※年末年始、お盆期間に休館有り。詳細はウェブサイトにてご確認ください。
- 利用方法： 「DaBY メンバーズ」登録 (無料)  
Dance Base Yokohama (DaBY) をご利用いただくためには、「DaBY メンバーズ」へのご登録 (無料) をしていただく必要がございます。DaBY メンバーズのご登録は、ウェブサイト (<https://dancebase.yokohama/members>) にてお願いいたします。
- グランドオープン： 2020年6月中予定 (\*緊急事態宣言の解除など周辺環境を鑑みながら決定していきます。)
- 運営： 一般財団法人セガサミー文化芸術財団

一般財団法人セガサミー文化芸術財団  
セガサミーホールディングス株式会社が、文化・芸術活動の発展に寄与することを目的に2019年3月に設立した一般財団法人。セガサミーグループが掲げる「感動体験を創造し続ける ~ 社会をもっと元気に、カラフルに。~」というミッションのもと、感動体験を創造し続ける企業として社会に貢献していくために、様々な文化・芸術分野での活動を行う。

## CONTACT

### GENERAL CONTACT :

Dance Base Yokohama 田中 希  
nozomi@dancebase.yokohama 050-5360-2673

### PRESS CONTACT :

デイリープレス 川村 美帆  
mihokawamura@dailypress.org 03-6416-3201 / 090-4063-3081

## PROFILE : DaBY CREATIVE STAFF

## 唐津 絵理 (DaBY アーティスティックディレクター / 愛知県芸術劇場シニアプロデューサー)



お茶の水女子大学文教育学部舞踊教育学科卒業、同大学院人文科学研究科修了。舞台活動を経て、1993年より日本初の舞踊学芸員として愛知芸術文化センターに勤務。2000年に所属の愛知県文化情報センターで第1回アサヒ芸術賞受賞。14年より現職。10年～16年あいちトリエンナーレのキュレーター（パフォーミング・アーツ）。大規模な国際共同製作から実験的パフォーマンスまでプロデュース、招聘した作品やプロジェクトは200を超える。文化庁文化審議会文化政策部会委員、全国公立文化施設協会コーディネーター、企業の芸術文化財団審査委員、理事等の各種委員、ダンスコンクールの審査員、第65回舞踊学会大会実行委員長、大学非常勤講師等を歴任。講演会、執筆、アドバイザー等、日本の舞台芸術や劇場の環境整備のための様々な活動を行っている。著書に『身体の知性』等。

## 小尻 健太 (DaBY ダンスエバンジェリスト / 振付家・ダンサー)



©momoko japan

1999年ローザンヌ国際バレエコンクール受賞。ネザーランド・ダンス・シアターIに日本人男性と初めて入団。退団後、スウェーデン王立バレエ団、Noism、シルヴィ・ギエム「6000 Miles Away」、キリアンプロダクションに客演する一方、ソロパフォーマンス『Study for Self/portrait』（2017年原美術館）など創作を軸に活動を展開。近年は、渡辺レイ、湯浅永麻とOptoを主宰するほか、フィギュアスケート日本代表選手の表現指導、Dance Lab「ダンサー、言葉で踊る」のキュレーター、さいたまダンス・ラボラトリー（彩の国さいたま芸術劇場）の講師 / ナビゲーターを務める。重力や錯覚を操る摩訶不思議な空間演出で注目を集め、AirpodsのCMでも話題になっている。

## 鈴木 竜 (DaBY アソシエイトコレオグラファー / 振付家・ダンサー)



©Hata Satoshi

横浜に生まれ、山梨・和歌山・東京で育ち、英国ランベール・スクールで学ぶ。これまでにアクラム・カーン、シディ・ラルビ・シェルカウイ、フィリップ・デュクフレ、インバル・ピント / アブシャロム・ポラック、エラ・ホチルド、平山素子、近藤良平、小尻健太、夏木マリなど国内外の作家による作品に多数出演。振付家としても横浜ダンスコレクション2017コンペティションIで「若手振付家のためのフランス大使館賞」などを史上初のトリプル受賞するなど大きな注目を集めており、作品は国内外で多数上演されている。

## 東海 千尋 (DaBY リーガルアドバイザー / 弁護士)



高校卒業まではバレエダンサーを目指してバレエに明け暮れるも、大学で路線を変更し法律家の道へ。09年中央大学法科大学院卒業後、同年司法試験に合格し10年12月弁護士登録。法律事務所で勤務した後、株式会社リクルートの法務部に主に新規事業に伴走する法務支援に従事した。17年に渡米し、Santa Monica CollegeでBusiness Department Certificateを取得後、各種アートマネジメントの講座を受講したことで、踊り手としてではなく弁護士として日本のバレエ・ダンス業界の発展に貢献することを決意。現在は、法務サポートが十分に行き届いていないスタートアップ企業への法務支援を主軸に、バレエ・ダンス業界の法務支援及び活性化のための各種取組みを実施。その一環として、YouTubeチャンネル「Ballet & Dance TALK」を運営中。

## DaBY PARTNERS

**SPREAD** (クリエイティブユニット)

小林弘和と山田春奈によるクリエイティブ・ユニット。環境・生物・物・時間・歴史・色・文字、あらゆる記憶を取り入れ「SPREAD = 広げる」クリエイティブを行う。「カラーとコンセプト」を特徴にグラフィック、プロダクト、エキシビションのデザイン&ディレクションに広く関わり、常に社会提案を心がける。主な仕事に、Tokyo Midtown DESIGN TOUCH「六本木カラー渓谷」(19年)、「国立新美術館開館10周年」記念ビジュアルデザイン(17年)、展覧会「Biology of Metal」(ロンドン)、「燕三条工場の祭典」、「HARU stuck-on design;」、コスメブランド「Celvoke」「F organics」、CDジャケット「相対性理論/正しい相対性理論」など。04年より、生活の記録をストライプ模様で表す「Life Stripe」を発表し注目を集め、日本、ミラノ、スイスなどで個展を開催。主な受賞歴に、red dot design 賞、iF design 賞、D&AD 賞、ドイツデザイン賞、Pentawards、アジアデザイン賞、グッドデザイン賞、日本パッケージデザイン大賞、読売広告大賞ほか。

**一色ヒロタカ + 小澤成美 + 森詩央里 + オンデザイン** (DaBY 空間設計)

横浜馬車道にある設計事務所。使い手の創造力を対話型手法で引き上げ、様々なビルディングタイプにおいてオープンでフラットな設計を行う。建築分野におけるコミュニケーションの可能性を探る実践をおこなっている。主な仕事として、「ヨコハマアパートメント」(JIA 新人賞、ヴェネチアビエンナーレ審査員特別表彰)、「ISHINOMAKI 2.0」(グッドデザイン復興デザイン賞、地域再生大賞特別賞)。市内では、相鉄いずみ野線沿線のまちづくり拠点「みなまきラボ」、横浜 DeNA ベ이스ターズがつくるスポーツXクリエイティブをテーマにした創造界隈拠点「THE BAYS」、近作は、神奈川大学国際学生寮、DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA など。

## DaBY EVENT GUEST



● 5/23(土) 21:00 ~ DaBY Channel 開設記念 DaBY talk Live Vol.1 登壇

**金森 穰 Jo Kanamori** (演出振付家・舞踊家)

りゅうとびあ 新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督、Noism Company Niigata 芸術監督。ルードラ・ベジャール・ローザンヌにて、モーリス・ベジャールらに師事。ネザールランド・ダンス・シアターII 在籍中に演出振付家デビュー。その後リヨン・オペラ座バレエ、ヨーテポリ・バレエ等で舞踊家及び演出振付家として活躍。2002年に帰国し、2004年4月新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督に就任。日本初となる公立劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げ、その作品は国内外、各方面から高い評価を得ている。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞ほか受賞歴多数。



● 5/28(木) 21:00 ~ DaBY talk Live Vol.2 登壇

**近藤良平 Ryohei Kondo** (コンドルズ主宰/振付家・ダンサー)

ペルー、チリ、アルゼンチン育ち。コンドルズ主宰。平成28年度(第67回)文化庁芸術選奨文部科学大臣賞受賞。第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞受賞。TBS系列「情熱大陸」、NHK「地球イチバン」出演。NHK教育「からだであそぼ」内「こんどうさんちのたいそう」、「かもしれないたいそう」、「あさだからだ!」内「こんどうさんとたいそう」、NHK総合「サラリーマンNEO」内「サラリーマン体操」などで振付出演。他にも野田秀樹作演出 NODA・MAP「パイパー」に振付出演。野田秀樹演出、NODA・MAPの四人芝居「THE BEE」で鮮烈役者デビュー。女子美術大学、立教大学などで非常勤講師としてダンスの指導もしている。愛犬家



● 6/27(土) Open Lab Vol.1 ゲスト

**山本康介 Kosuke Yamamoto**

美佳バレエスクールにおいて山口美佳に師事。1996年、13歳という若さで名古屋世界バレエ&モダン・ダンスコンクールにおいて審査員特別賞、ポーランド国立オペラ劇場からニジンスキー賞を受賞。1998年英国ロイヤル・バレエスクール入学。主席で卒業しニネット・デ・ヴァロワ賞も受賞。2000年バーミンガム・ロイヤル・バレエ入団。数々の作品でプリンシパル・ソリストを務め、バレエ団の公演においても振付を手がける。2010年帰国後は、ダンサー、演出家、指導者として活動し、『プレミアムカフェ』(NHK)『ローザンヌ国際バレエコンクール』(NHK)の解説者としても出演。

## ARTIST PROFILE

## TRIAD INTERMISSION に関わるアーティスト



©Dominik Mentzos

**安藤洋子 Yoko Ando**

横浜生まれ。木佐貫邦子に師事。2001年よりフランクフルトバレエ団 (Ballett Frankfurt) にアジア人として初めての入団を果たす。04年 フランクフルトバレエ団解散後も引き続きザ・フォーサイズ・カンパニー (The Forsythe Company) に在籍し、15年のカンパニー解散までの15年間、中心ダンサーとして、世界各国の舞台上で踊り、フォーサイズの40作品に出演。01年以降、カンパニーの活動以外では、自身が作/演出/出演するダンス作品発表のほか、国内外の音楽家や現代美術家等とのコラボレーション、メディアテクノロジーを使ったダンスの創作と教育などにも積極的に取り組んでいる。現在、横浜とNYを拠点に活動。



©Tomohide Ikeya

**酒井はな Hana Sakai**

アメリカのシアトルに生まれ、神奈川県鎌倉市で育つ。1979年からバレエを始め、畑佐俊明に師事。橘バレエ学校、牧阿佐美バレエ団に入団し、14歳でキューピット役に抜擢、18歳で主役デビュー。97年新国立劇場バレエ団設立と同時に移籍、主役を務める。07年劇団四季の『コンタクト』と09年『アンデルセン』にゲスト出演。13年ユニット〈アルトノイ〉として、島地保武との共同創作を本格的に開始する。96年村松賞新人賞、舞踊評論家協会新人賞、97年中川鋭之助賞、98年芸術選奨文部大臣新人賞、00年服部智恵子賞、08年舞踊批評家協会賞、09年芸術選奨文部科学大臣賞、15年ニムラ舞踊賞、17年紫綬褒章など。



©Tadashi Okochi

**中村恵恵 Megumi Nakamura**

横浜市出身。1988年ローザンヌ国際バレエコンクールにてプロフェッショナル賞を受賞後、モンテカルロバレエ団を経て、イリ・キリアン率いるネザールランド・ダンス・シアターに所属し活躍。07年に日本へ活動の拠点を移した後も、ダンサー・振付家として、新国立劇場バレエ団、Kバレエカンパニー、パリ・オペラ座のエトワールなどに作品を提供。首藤康之との創作活動も積極的に行っており、「Shakespeare THE SONNETS」(新国立劇場) など多くの作品を上演。また、キリアン作品のコーチも務め、パリオペラ座をはじめ世界各地のバレエ団や学校の指導にあたる。第61回芸術選奨文部科学大臣賞、第67回神奈川文化賞、18年紫綬褒章など受賞多数。



©Kikuko Usuyama

**岡田利規 Tshiki Okada (演劇作家/小説家/チェルフィッチュ主宰)**

1973年横浜生まれ、熊本在住。活動は従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。『三月の5日間』で第49回岸田國士戯曲賞を受賞。小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』で第2回大江健三郎賞を受賞。16年よりドイツ有数の公立劇場ミュンヘン・カンマーシュピーレのレパートリー作品演出を4シーズンにわたって務め、20年『The Vacuum Cleaner』が、ドイツの演劇祭 Theaterreffen の“注目すべき10作品”に選出。18年より『ブラータナー：憑依のポートレート』をバンコク、パリ、東京にて上演。同作で第27回読売演劇大賞 選考委員特別賞を受賞。

**四家卯大 Shika Udai (チェロ)**

ロック、ポップス、ジャズ、クラシック、即興音楽と多彩なジャンルで活躍する土俗的チェリスト。10年代の日本の商業音楽界を支えるトップ・ストリングスアレンジャーのひとり。近年では Bank Band、Mr.Children、ONE OK ROCKをはじめ、多数のロックバンドにストリングス担当として演奏&アレンジで参加。19年10月にはバッハの無伴奏チェロ組曲に挑戦した「たいようの谷」をリリース。オリジナル曲やクラシックに即興を取り入れた演奏スタイルも得意とする。



©Ian Douglas

**山崎広太 Kota Yamazaki**

笠井勲に師事。07年にニューヨーク・パフォーマンス・アワード(ベッシー賞)、13年現代芸術財団アワード、17年ニューヨーク芸術財団フェロー、18年グッゲンハイム・フェローの各賞を受賞。20年ニュージーランドの Footnote New Zealand Dance の新作「霧、神経、未来、オーシャン、ハロー(木霊する)」でオンライン・クリエイションに挑んだ後、NZ国内、Dance Base Yokohama、北米ツアー予定。ボディ・アーツ・ラボラトリー主宰。ペンントン大学に所属。コラボレーション・パフォーマー：岩淵貞太、小暮香帆、小野彩加、金子愛帆、木原萌花、久保田舞、栗朱音、ながやこうた、幅田彩加、望月寛斗、横山千穂

## ARTIST PROFILE

## DaBY 登録アーティスト一部

**森永泰弘** Yasuhiro Morinaga (ゲストアーティスト) 音楽

東京藝術大学大学院を経て渡仏。帰国後は音楽・芸術人類学的な視座から世界各地をフィールドワークし、楽器や歌の初源、儀礼や祭祀のサウンドスケープ、都市や集落の環境音をフィールドレコーディングしながら音源制作や作品を発表している。



©Gottingham

**堂園 翔矢** Shoya Dozono (ゲストアーティスト) デザイナー／プログラマ

1988年東京都生まれ。2012年東京造形大学デザイン学科、2014年情報科学芸術大学院大学(IAMAS)修了。2016年Qosmoに参加。コンピューショナルデザイン的手法を用いてグラフィック、映像、Webなどの制作・リサーチを行う一方、梅田宏明のダンス・インスタレーション作品での映像プログラミングや橋本幸士(大阪大学)との協働による高次元空間のビジュアライゼーション等、領域を横断したコラボレーションを展開。アルスエレクトロニカ、文化庁メディア芸術祭など受賞多数。

**田中麻里奈** Marina Tanaka (ゲストアーティスト) 音楽

東京藝術大学大学院映像研究科、ポローニャ大学大学院舞台芸術研究科で音のドラマトゥルギーを研究、制作する。「音と空間」に興味を持ち、光を用いたサウンドインスタレーションの発表や、劇場での演劇ワークショップ“サウンドシエノグラフィー”を実践している。代表作のサウンドスケープ作品は、イタリア、ピサのドゥオーモ美術館の3つの展示室に12世紀の歴史的美術品とともに常設展示されている。



©Hiroyasu Daido

**小野 麻里子** Mariko Ono (レペティター)

3歳からクラシックバレエを習い、14歳でヨーロッパバレエ研修に参加。その後、様々なジャンルに触れる。多数のダンス公演や、日本バレエ協会・現代舞踊協会等の公演に出演。二期会オペラを始め、芝居・ジャニーズ等のミュージカル・ハロー!プロジェクトのライブや、SMAP×SMAPなどの歌番組といった様々な現場で出演・振付等、アシスタント業務を含め幅広く活動。15年東宝ミュージカル“エリザベート”にて、小尻健太の振付助手を務める。他作品を含め現在も継続。19年ミュージカル“ロミオ&ジュリエット”では小尻健太を含む3人の振付師の下、全てのダンスシーンでサポートを行う。現在、ダンス公演を中心に出演・自身で主催・ソロ作品の創作を行う。16年・18年単身渡欧。ロンドンにて映像作品に出演。

**安心院 かな** Kana Ajimu (レジデンスダンサー)

福岡県出身。6歳よりクラシックバレエを始める。高校卒業後、カナダのGoh Ballet Academyに2年半留学。Goh Ballet Youth Companyに所属。留学中、コンテンポラリーダンスを宮内麻衣子に師事。帰国後、スターダンサーズジュニアバレエ団に1年間所属。`16年9月から`18年3月まで榎田祥光主宰のDance Company Lastaに所属。`17年5月から2019年1月まで鈴木竜主宰のジュニアカンパニーL.A.B.に所属。`18年には彼が新しく立ち上げたDance Company eltaninに旗揚げメンバーとして加入。18年1月に大塚郁実、安岡あこと共にムルマを結成。同年9月に三東瑠璃主宰のカンパニーCo.Ruri Mitoのオーディションに合格し加入。

**岡本 優香** Yuka Okamoto (レジデンスダンサー)

12歳よりストリートダンスとジャズダンスを始める。17歳の頃に初めてLAに短期留学をした時にコンテンポラリーダンスと出会い帰国後日本で本格的にコンテンポラリーダンスとクラシックバレエを学び始める。現在は舞台活動、バックダンサー、クラブ活動などしながら自分の踊りを探している。